

# 日本共産党 県会議員 おくむらのり子の県政だより

## 2026年夏号

和歌山県議会6月定例会が9日から26日まで開かれ、29議案と10意見書・決議が提案されました。  
日本共産党のおくむらのり子県議は、補正予算など2議案と3意見書・決議に反対しました。

## 物価高騰から中小企業と生活まもれ



な方々に行き渡るものとなっていないと指摘。他の自治体で行われている「小規模事業者等支援補助金」や、コロナ禍で行われた「飲食・宿泊・サービス業等支援金」「持続化給付金」「休業支援金」「生活福祉資金特例」などの緊急対策を行うことが自治体の責任であると迫り、国に財源確保を要望するとともに、県独自で支援を行うよう求めました。

## 投資促す「こどもNISA」に反対

「和歌山県税条例の改正」には、2027年1月から「こどもNISA」を始めるための措置が含まれています。2014年に導入された「NISA」のモデルとなったイギリスの個人貯蓄制度「ISA」は預金利子も非課税の対象で利用割合の65%が預金型であるのに対し、日本の「NISA」は株式投資だけに限定したゆがんだ制度となっています。

おくむら県議は「こどもNISA」が創設されることについて、未成年者に税制優遇してまで投資を進める必要はなく、実態は富裕層への優遇税制であると批判。こどものための資金が必要であれば投資の失敗は許されず、学資保険や預貯金を中心に備えるべきと訴えました。



## コロナ禍と同様の支援を！

おくむらのり子県議は、本会議で反対討論に立ち、6月補正予算に反対しました。

おくむら県議は、全国商工団体連合会が4月に行った調査では「ホルムズ海峡封鎖による影響がある」「今後ありそう」と答えた事業者が9割以上あると報告。医療・介護分野では国・県の「パッケージ支援」だけでは人件費や資材の高騰に追い付かず経営が大変苦しいこと、物価高騰の加速化が県民の節約生活を長期化させていることを訴えました。

その上で、今回の補正予算では「中小企業成長促進」を10億円追加しているが、生産性向上への設備投資などへの支援であり、現在の事業を継続することが困難

## 男系を尊重した皇位継承に反対

6月議会で提案された「皇室の伝統に基づく安定的な皇位継承及び皇族数確保のための法整備の早期実現を求める意見書」では「男系継承の重みを尊重した上での真摯な議論」を求めています。おくむら県議は、男系男子だけに皇位継承を認めている皇室典範を改正し、女系天皇及び女性天皇を認めるべきとして反対しました。

## 消費税はすべて5%にし、廃止へ

「食料品の消費税率引下げに伴う農林水産事業者及び

小規模事業者等への影響に係る対策を求める意見書」に対し、おくむら県議は食料品だけゼロにした場合よりもすべての品目で5%にすれば倍の減税になると指摘し、消費税を緊急に一律5%に引き下げ、廃止を求める立場から反対しました。

## 拉致問題アニメ視聴の強要に反対

おくむら県議は「北朝鮮による日本人拉致問題に対する理解を深めるための取組を推進する決議」に対し、政府作成アニメ「めぐみ」視聴の教育現場への強要につながりかねないとして反対しました。

[Homepage](#)